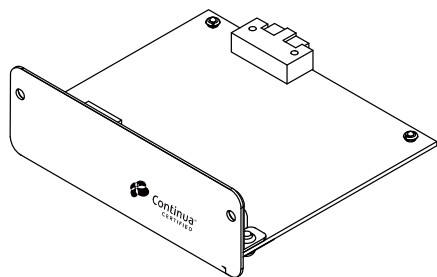


1. 仕様

1.1. 仕様

本機は、当社製の全自動血圧計 TM-2656 シリーズに取り付けて使用するインタフェースボードです。本機には拡張端子 1 (D-Sub 9pin オス) が装備されており外部機器へデータの入出力が可能です。また無線式 Bluetooth®モジュールを内蔵しており Bluetooth®通信によって測定結果を送信することが可能です。各通信機能の設定は全自動血圧計の機能設定により行います。

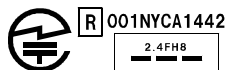


1.2. 外形寸法

本体 105 (W) × 40.5 (H) × 99.6 (D) mm

1.3. 通信仕様 (Bluetooth®仕様)

項目	仕様
規格	Bluetooth® Ver. 2.1
送信出力	Class 1
通信距離	最大 100m (使用環境により異なります。)
対応プロトコル	HDP



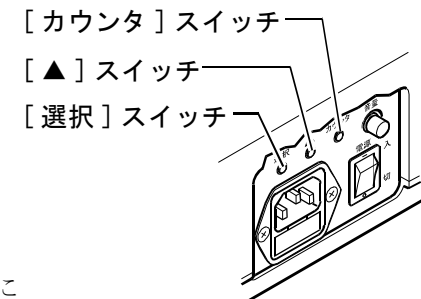
対応機種	Continua ロゴマークを取得した機器 HDP プロファイルに対応した Bluetooth®機器
------	---

本機は、電波法の規制により工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。本機の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

1.4. 全自動血圧計 (TM-2656) の設定

本機を全自動血圧計 (TM-2656) に取り付けて使用する前に血圧計本体の通信設定を確認してください。通信設定は血圧測定を行っていないときに血圧計本体背面パネルのプッシュスイッチで通信設定を確認できます。

- ① [▲] スイッチと [選択] スイッチを押しながら電源を ON すると最高血圧表示部に $F01$ と表示され機能設定モードに入ります。
- ② [選択] スイッチを押す毎に設定項目が、 $F02 \rightarrow F03 \rightarrow \dots$ と変更します。
- ③ $F20$ と表示しているときに最低血圧表示部に 1 または 2 になるように [▲] スイッチで変更します。
(拡張端子 1 に身長体重計を接続している場合は 2 にしてください。)
- ④ 設定変更が終了したら 1 度電源を切って再度電源を入れてください。



2. Bluetooth

2.1. ペアリング

Bluetooth®機器は特定の受信機器と通信するためにペアリングが必要です。一度ペアリングを行うと血圧測定データは、測定するたびに自動的にペアリングをした受信機器へ送信されます。ペアリングは以下の手順で行います。また、受信機器のペアリングの説明書も参照してください。ペアリングウィザードが準備されている場合は、そちらをお使いください。

- ① 受信機器を受信機器の説明書に従って、ペアリング可能な状態にします。本機のペアリングは、受信機器のできるだけ近くで行ってください。
- ② 本機を取り付けている全自動血圧計の電源を入れます。
本機は、電源を入れてから約 1 分間、受信機器から検索可能になります。
- ③ 受信機器のペアリングの説明書に従って、本機を検索、選択、ペアリングを行います。受信機器側で PIN コードを要求された場合は 123456 を入力してください。
- ④ 受信機器側で、ペアリングが正常に終了するとペアリングは終了です。
- ⑤ ペアリングに失敗した場合は、全自動血圧計の電源を入れなおして再度①からやり直してください。

ペアリングの後、すべての通信は自動的に行われます。

お知らせ

ペアリングを行う際は、本機以外の Bluetooth®機器の電源をオフにしてください。複数の機器のペアリングは同時にはできません。測定データの受信ができなくなった場合は、再度、ペアリングを試みてください。

2.2. 測定データ送信

ペアリング後の通信は、以下の手順で自動的に行われます。受信機器は、通信可能状態にしておいてください。

- ① 血圧測定[スタート/ストップ]スイッチを押して測定する。
- ② 測定終了後、測定データは自動的に受信機器へ送信されます。

お知らせ

本機と受信機器との通信距離は、受信機器の Bluetooth®の出力クラスに依存します。
受信機器が Class1 の Bluetooth®の場合： 1 0 0 m以下
受信機器が Class2 の Bluetooth®の場合： 1 0 m以下
この距離は周囲環境により変化します。測定データが届く距離を確認してください。

2.3. メモリ

受信機器が測定データを受信できなかった場合は、測定データは、測定時刻とともに本機のメモリに、自動的に保存されます。メモリは 25 データまで保存されます。25 データを超えた場合は、最も古いデータが消去され、新しいデータが保存されます。メモリに保存されたデータは、次回測定時に、受信機器と接続が成功したときに、まとめて送信され、受信が確認されると自動的にメモリから消去されます。

2.4. 時刻

本機は時計を内蔵しています。測定データは、測定日時を含んでいます。時刻は、受信機器側の時計の時刻に自動的に同期されますので、設定する必要はありません。

お知らせ

ペアリング後、初めて測定し、測定データが受信機側に正常に送られたとき、自動的に本機の時刻が受信機の時刻に合わせられます。最初のデータの測定時刻は、以前の受信機の時刻となりますので、このデータは受信確認用のみにお使いください。登録ペアリングウィザードを利用すると、自動的にこの作業が行われます。尚、血圧計本体の時刻は本機及び受信機の時刻と同期しませんので注意してください。

3. アフターサービス・保証

本機、およびオプション品は、日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

3.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体.....ご購入より 12 ヶ月

3.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- 本書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- 本書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

- 当社 ME 機器相談センターにお申し付けください。